

参 考 資 料

資料 1 校区別人口推計

資料 2 行財政改革懇談会意見書【一部抜粋】

資料 1 校区別人口推計

校区別人口推計は、過去の実績値をもとに、以下に示す推計方法に従って一律的に計算した結果を示したものです。あくまでも現時点での推計であり必要に応じて適宜見直しを行います。

【参考】 <校区別人口推計の推計方法>**●推計方法**

コーホート要因法による。ここで言うコーホートは、平成22年国勢調査の「町丁・字等別、男女別、年齢別（5歳階級）人口」を指し、これに対する出生、死亡、純移動（転入と転出）という人口変動要因の将来値を仮定し、将来人口を推計した。

●推計期間

平成22年から平成47年までの5年ごとの25年間

●基準人口

平成22年国勢調査の「町丁・字等別、男女別、年齢別（5歳階級）人口」

●出生（子ども女性比）

出生は、0歳から4歳までの子ども数に対する15歳から49歳までの女性の数の比（子ども女性比）をもとに、校区ごとの出生数を推計した。その将来値は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」の豊橋市の子ども女性比の推移と同じと仮定し、将来の出生数を推計した。なお、0歳から4歳までの性比は、「愛知県衛生年報」における平成17年から22年までの豊橋市の男女別出生数の性比を適用した。

●死亡（生残率）

死亡は、「愛知県衛生年報」における平成17年から22年までの豊橋市の死亡数から生残率を求めた。その将来値は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計）」における愛知県の生残率の推移と同じと仮定し将来の死亡数を推計した。

●人口移動（純移動率）

人口移動（転入と転出）については、景気後退により流出傾向が強かった平成17年から22年までと好況基調で流入傾向が強かった平成12年から17年までの純移動率の平均値になると仮定し、移動数を推計した。なお、大規模住宅開発等の特殊事情により人口の伸び率が異常に高くなった校区については、純移動率に必要な補正を行った。計画段階の大規模住宅開発は考慮していない。

●小学校区の範囲設定

本市の小学校区の範囲は、国勢調査の町丁・字の集まりと必ずしも一致しないため、各町丁・字がどの校区に属するか、面積の多い方に割振りをした。ただし、二川、二川南、飯村、幸、高師校区については、同一の町丁・字での按分も行った。

▼校区别人口推計（1）

校区	区分	H27	H47	増減
岩田	総人口	14,893	12,369	△ 2,524
	0～14歳	1,973	1,163	△ 810
	15～64歳	9,471	7,021	△ 2,450
	65歳以上	3,449	4,185	736
豊	総人口	7,022	5,263	△ 1,759
	0～14歳	919	575	△ 344
	15～64歳	4,198	2,961	△ 1,237
	65歳以上	1,905	1,727	△ 178
東田	総人口	8,940	6,199	△ 2,741
	0～14歳	1,060	573	△ 487
	15～64歳	5,238	3,445	△ 1,793
	65歳以上	2,642	2,181	△ 461
八町	総人口	3,053	2,324	△ 729
	0～14歳	293	158	△ 135
	15～64歳	1,824	1,311	△ 513
	65歳以上	936	855	△ 81
松葉	総人口	6,578	5,822	△ 756
	0～14歳	882	655	△ 227
	15～64歳	3,883	3,494	△ 389
	65歳以上	1,813	1,673	△ 140
花田	総人口	8,245	6,452	△ 1,793
	0～14歳	966	593	△ 373
	15～64歳	4,951	3,898	△ 1,053
	65歳以上	2,328	1,961	△ 367
松山	総人口	6,768	5,164	△ 1,604
	0～14歳	786	397	△ 389
	15～64歳	4,170	2,904	△ 1,266
	65歳以上	1,812	1,863	51
新川	総人口	4,541	2,976	△ 1,565
	0～14歳	438	196	△ 242
	15～64歳	2,608	1,570	△ 1,038
	65歳以上	1,495	1,210	△ 285
羽根井	総人口	8,457	7,909	△ 548
	0～14歳	1,028	740	△ 288
	15～64歳	5,289	4,736	△ 553
	65歳以上	2,140	2,433	293
下地	総人口	6,216	5,809	△ 407
	0～14歳	868	605	△ 263
	15～64歳	3,922	3,602	△ 320
	65歳以上	1,426	1,602	176
大村	総人口	3,634	3,452	△ 182
	0～14歳	519	402	△ 117
	15～64歳	2,127	1,949	△ 178
	65歳以上	988	1,101	113
津田	総人口	3,969	3,879	△ 90
	0～14歳	563	464	△ 99
	15～64歳	2,475	2,351	△ 124
	65歳以上	931	1,064	133
牟呂	総人口	13,706	13,629	△ 77
	0～14歳	1,907	1,626	△ 281
	15～64歳	9,177	8,276	△ 901
	65歳以上	2,622	3,727	1,105
汐田	総人口	8,003	10,266	2,263
	0～14歳	1,162	1,408	246
	15～64歳	5,502	6,455	953
	65歳以上	1,339	2,403	1,064
吉田方	総人口	17,585	22,981	5,396
	0～14歳	3,020	3,362	342
	15～64歳	11,340	15,107	3,767
	65歳以上	3,225	4,512	1,287
高師	総人口	12,051	10,245	△ 1,806
	0～14歳	1,623	1,096	△ 527
	15～64歳	7,255	6,000	△ 1,255
	65歳以上	3,173	3,149	△ 24
幸	総人口	15,280	13,820	△ 1,460
	0～14歳	2,332	1,617	△ 715
	15～64歳	9,426	8,091	△ 1,335
	65歳以上	3,522	4,112	590
芦原	総人口	9,833	8,305	△ 1,528
	0～14歳	1,483	994	△ 489
	15～64歳	5,861	4,760	△ 1,101
	65歳以上	2,489	2,551	62
福岡	総人口	13,745	12,333	△ 1,412
	0～14歳	1,725	1,133	△ 592
	15～64歳	8,978	7,394	△ 1,584
	65歳以上	3,042	3,806	764
中野	総人口	6,101	5,001	△ 1,100
	0～14歳	755	391	△ 364
	15～64歳	3,909	2,749	△ 1,160
	65歳以上	1,437	1,861	424
磯辺	総人口	12,691	12,534	△ 157
	0～14歳	1,873	1,488	△ 385
	15～64歳	8,132	7,576	△ 556
	65歳以上	2,686	3,470	784
大崎	総人口	3,862	4,533	671
	0～14歳	545	453	△ 92
	15～64歳	2,368	3,034	666
	65歳以上	949	1,046	97
野依	総人口	8,331	12,721	4,390
	0～14歳	1,668	2,139	471
	15～64歳	4,805	6,959	2,154
	65歳以上	1,858	3,623	1,765
植田	総人口	4,932	4,432	△ 500
	0～14歳	750	600	△ 150
	15～64歳	2,803	2,704	△ 99
	65歳以上	1,379	1,128	△ 251
牛川	総人口	10,020	11,527	1,507
	0～14歳	1,442	1,543	101
	15～64歳	6,321	7,176	855
	65歳以上	2,257	2,808	551
鷹丘	総人口	11,983	10,064	△ 1,919
	0～14歳	1,828	1,180	△ 648
	15～64歳	7,427	5,552	△ 1,875
	65歳以上	2,728	3,332	604

▼校区別人口推計（2）

校区	区分	H27	H47	増減
下条	総人口	1,447	1,168	△ 279
	0～14歳	181	100	△ 81
	15～64歳	840	625	△ 215
	65歳以上	426	443	17
多米	総人口	12,006	12,612	606
	0～14歳	1,832	1,353	△ 479
	15～64歳	7,337	6,731	△ 606
	65歳以上	2,837	4,528	1,691
岩西	総人口	8,773	8,036	△ 737
	0～14歳	1,250	952	△ 298
	15～64歳	5,381	4,861	△ 520
	65歳以上	2,142	2,223	81
飯村	総人口	11,274	11,185	△ 89
	0～14歳	1,777	1,291	△ 486
	15～64歳	7,280	6,507	△ 773
	65歳以上	2,217	3,387	1,170
つつじが丘	総人口	10,104	10,281	177
	0～14歳	1,632	1,241	△ 391
	15～64歳	6,642	6,016	△ 626
	65歳以上	1,830	3,024	1,194
旭	総人口	3,724	2,866	△ 858
	0～14歳	396	272	△ 124
	15～64歳	2,088	1,583	△ 505
	65歳以上	1,240	1,011	△ 229
栄	総人口	14,866	11,771	△ 3,095
	0～14歳	1,973	1,246	△ 727
	15～64歳	9,480	7,184	△ 2,296
	65歳以上	3,413	3,341	△ 72
天伯	総人口	5,601	6,250	649
	0～14歳	775	751	△ 24
	15～64歳	3,620	3,883	263
	65歳以上	1,206	1,616	410
大清水	総人口	7,444	7,747	303
	0～14歳	1,022	742	△ 280
	15～64歳	4,434	4,178	△ 256
	65歳以上	1,988	2,827	839
富士見	総人口	7,774	6,508	△ 1,266
	0～14歳	1,206	681	△ 525
	15～64歳	5,185	3,468	△ 1,717
	65歳以上	1,383	2,359	976
向山	総人口	7,048	5,005	△ 2,043
	0～14歳	768	417	△ 351
	15～64歳	3,960	2,641	△ 1,319
	65歳以上	2,320	1,947	△ 373
前芝	総人口	3,981	3,511	△ 470
	0～14歳	565	359	△ 206
	15～64歳	2,469	1,971	△ 498
	65歳以上	947	1,181	234
西郷	総人口	2,311	1,765	△ 546
	0～14歳	267	155	△ 112
	15～64歳	1,390	906	△ 484
	65歳以上	654	704	50
玉川	総人口	5,197	4,425	△ 772
	0～14歳	664	439	△ 225
	15～64歳	3,167	2,595	△ 572
	65歳以上	1,366	1,391	25
嵩山	総人口	1,555	1,258	△ 297
	0～14歳	160	80	△ 80
	15～64歳	775	491	△ 284
	65歳以上	620	687	67
石巻	総人口	2,923	2,771	△ 152
	0～14歳	444	357	△ 87
	15～64歳	1,696	1,607	△ 89
	65歳以上	783	807	24
谷川	総人口	3,569	3,403	△ 166
	0～14歳	422	268	△ 154
	15～64歳	2,417	2,255	△ 162
	65歳以上	730	880	150
小沢	総人口	2,733	2,721	△ 12
	0～14歳	363	304	△ 59
	15～64歳	1,652	1,484	△ 168
	65歳以上	718	933	215
細谷	総人口	2,814	2,251	△ 563
	0～14歳	362	176	△ 186
	15～64歳	1,670	1,234	△ 436
	65歳以上	782	841	59
二川	総人口	7,857	7,962	105
	0～14歳	1,052	829	△ 223
	15～64歳	4,609	4,407	△ 202
	65歳以上	2,196	2,726	530
二川南	総人口	9,160	9,915	755
	0～14歳	1,315	1,066	△ 249
	15～64歳	5,606	6,064	458
	65歳以上	2,239	2,785	546
豊南	総人口	2,717	2,747	30
	0～14歳	381	304	△ 77
	15～64歳	1,531	1,499	△ 32
	65歳以上	805	944	139
高根	総人口	2,508	2,963	455
	0～14歳	520	501	△ 19
	15～64歳	1,506	1,874	368
	65歳以上	482	588	106
老津	総人口	3,582	3,048	△ 534
	0～14歳	456	329	△ 127
	15～64歳	2,105	1,691	△ 414
	65歳以上	1,021	1,028	7
杉山	総人口	4,908	5,850	942
	0～14歳	1,145	1,067	△ 78
	15～64歳	2,863	3,735	872
	65歳以上	900	1,048	148
賀茂	総人口	1,301	976	△ 325
	0～14歳	135	91	△ 44
	15～64歳	757	486	△ 271
	65歳以上	409	399	△ 10

※仮定値の条件設定により豊橋市の総人口と合計が一致していません

資料2 行財政改革懇談会意見書（平成27年10月29日）【一部抜粋】

■ 最優先して豊橋市が推進すべき項目

公共施設・インフラなどのあり方について

豊橋市において今後、少子高齢化の進展に併せ、人口減少により公共施設・インフラなどの利用需要は変化していく。

学校、市民館や市営住宅などの公共施設については、複数の目的や機能を持たせる複合化・多機能化、民間の施設や運営方法の活用、広域（近隣自治体との共有や共用を含む）による利用、統廃合などを通じて、市の財政に見合った適正規模・最適配置を目指すべきである。そのためには、設置目的にとらわれることなく見直しを行うことも避けられないかもしれない。また、見直しの際は、市の特徴や特性を活かしながら、市民とともに検討することが重要である。市民もまた市の財政破綻や将来世代への多額の負担について十分に斟酌し、合意を形成することが必要である。

ハコモノとは異なって、市民生活に密着し、社会生活を支える役割を担っている道路、橋梁や上下水道などのインフラについては、統廃合などの対応は難しい面がある。しかし、公共施設と同様に、維持管理・更新等に係る費用の縮減や、将来の社会構造を踏まえた、統合や廃止の必要性を検討し、出来ることから実行することを強く望む。水道事業についてはすでに広域化の事例も全国的には散見されており、豊橋市の枠組を超えた行財政改革の発想をもつことが重要である。

以上を踏まえた、具体的な指摘は次の4点に集約できる。

- 公共施設・インフラなどのあり方を検討するに当たっては、人口ビジョンにおける人口推計、年齢構成の変化を踏まえ、さらに地域の特性を十分に考えて行う必要がある。特に、小中学校については、校区ごとの児童・生徒数の推移予測をもとに、地域コミュニティを形成する観点からも地元住民との話し合いを行い、統廃合を含めた学校の最適配置を検討すべきである。また、地域コミュニティ活動の充実に併せて整備を進めた市民館についても、同様の対応を検討すべきである。
- 公共施設に関する利用状況や維持管理に係る費用、施設の老朽度などの情報を市民に分かりやすい形で提供することにより、公共施設の現状についての市民理解を深める必要がある。さらに各地区の公共施設を市の保有施設から、地域が守り保有する施設へと認識を変化させていくことも検討すべきである。
- 文化施設やスポーツ施設などは、近隣の市町と相互利用を考えることが必要であり、施設の建設や更新の際には、市が保有することにこだわらず民間の施設や運営方法を積極的に活用することも視野に入れるべきである。
- インフラについては、市民の安全・安心を確保しつつ、更新、改修、維持管理等に係る費用の縮減を図るとともに、役割や機能を再確認し、統合や廃止を含め、その必要性を検討し、先送りすることなく取組を実行することが重要である。